

樹木生態学特論 —佐渡フィールドスタディー—

目的 さまざまなタイプの森林に分布する植物の形態や生活史特性を比較し、その生活史戦略を学ぶ。それらの特性と環境要因の関係を R によって解析を行う。また、各自の担当樹種の間接発表を行うので、Power Point で 10 分間程度で発表できるようにまとめておく。他大学の院生は自分の研究内容の紹介をする。

日時 2014年7月30日（水）～8月2日（土）（3泊4日）

場所 フィールド科学教育研究センター佐渡ステーション

Tel 0259-78-2613

携帯（崎尾）080-5065-0486

日程 7月30日（水） 9：25 新潟港
11：55 両津港（フェリーで昼食）
おけさ橋（土産物通りを突抜ける）を渡った駐車場に集合
14：00 フィールドスタディⅠ（ドンデン高原 or 天然スギ）
17：00 佐渡ステーション
18：00 夕食
19：00 各自の課題樹木の間接発表
31日（木） 7：30 朝食
8：30 フィールドスタディⅡ（データ解析調査）
12：00 昼食
13：00 フィールドスタディⅢ（データ解析調査）
18：00 夕食
19：00 Rによる統計解析講習（上野講師）
8月1日（金） 7：30 朝食
8：30 Rによるデータ解析
12：00 昼食
13：00 Rによるデータ解析
15：00 調査結果発表会
18：00 夕食・懇親会
8月2日（土） 7：30 朝食
8：30 フィールドスタディⅣ（里山）
12：00 両津港
12：40 フェリー両津港発
15：10 フェリー新潟港着
(天候その他の事情によりスケジュールに変更あり)

持ち物：長袖、長ズボン、着替え、タオル、洗面用具、ザック、雨具、ルーペ、双眼鏡、
フィールドノート、図鑑等

発表データ：USBメモリーなどで持参

参加費 9000円（両津港までの交通費は各自負担）

7月11日（金）までに代表がまとめてFC事務室の土田さんまで持ってきてく
ださい。他大学の院生は実習当日持参

フィールドの概要

ドンデン高原：長年の牛の放牧の影響による独特な植生が見られる。

ハクサンシャクナゲ・レンゲツツジ・ハナヒリノキ・ガクウラジロヨウラク
サドアザミ・ノイバラ・ヒロハヘビノボラズ

スギ天然林：冬季の積雪の影響で複雑な樹形

スギ・ヒバは枝による伏条更新。

サワグルミ・ホウノキ・ミズナラは主幹が直立できず、萌芽を繰り返し出す。

林道沿い・ギャップ

タニウツギ・マタタビ・ヤマブドウ

風衝地：冬季の北西の強風により樹形が低く扁形、矮小化

スギは樹高が低く、風上側の枝が枯れあがっている。

ハクサンシャクナゲ・ガクウラジロヨウラク・キツネヤナギは極端な低木化
草本も矮小化（オオイワカガミ）

土石流跡地の更新：大規模攪乱の土石流跡地の異なるニッチに樹木が分布

ケヤマハンノキ・オノエヤナギ・カツラ・サワグルミ

海岸沿いの常緑広葉樹：タブノキ林

その他

シナノキ・トチノキ・オオバクロモジ・シウリザクラ・ウワミズザクラ・イヌザクラ
ミズナラ・ナナカマド

指導教員 教授：崎尾均、助教：阿部晴恵、特任助手：菅尚子

特別講師 国土交通省国土技術政策総合研究所 緑化生態研究室 研究官 上野裕介